

駅前広場整備に関するご意見

町では、令和元年9月23日に「駅前広場整備に関する説明会」を実施しましたが、時間の都合で発言できなかった方などから、説明会後にご意見を頂戴しましたのでご紹介いたします。

町民の皆さまよりいただいたご意見を踏まえ、今後、駅前広場東側の旧駐輪場跡地、飲食店、交番、観光案内所を駅前広場区域に含めることやコスト縮減などを検討しながら、関係機関とも協議して整備計画図（行政案）を作成してまいります。

なお、作成した整備計画図（行政案）については、改めて、ご意見を伺う機会を設けてまいります。（※ご意見に付した番号は、転記した順番であって、提出いただいた順番ではありません。）

■説明会終了後にいただいたご意見

1 西小磯

賛成、反対、どちらを選ぶ立場ではありませんが、先日の説明会（9月23日）に参加させて頂きました。皆様の熱い意見（大磯を思う気持ち）に圧倒されました。

私は、子供を育てるのに大磯に越してまいりました。自然がいっぱい（山、川、海、おいしい空気）自然の中で育てられた気がします。自然は絶対裏切りません。人口が増え、車も増えました。画家の堀文子先生も言われています。大磯は各駅停車しか止まらないので、移り住んだと。それが大磯の魅力の一つだと思います。見慣れた町、風景、私には（74才）安心した町です。どちらかではなく、心情としまして、駅前に限らず、お互い譲り合いの気持ちが大事だと思います。大磯の方達は、この自然の中で生活し、心豊かな方ばかりです。アンケートにはなりませんでしたが、感想文になってしまいました。よろしくお願いします。

2 西小磯

① 大磯駅前を立体駐車場にしたらどうでしょうか。

町営で二階・三階で、中央にある木と池は取り外し

② 吉田邸の、手前東側バス停、山側と海側に屋根を付けたらよいと思います。歩こう会団体、多くの団体（土）（日）暑さ寒さの中で待っている。観光地らしくない。難しい面もあるみたいですが。

3 西小磯

9月23日の説明会に参加しました。役場と町長の対応に憤りを感じます。整備計画に対しての反対意見にももう少し真摯に向き合ってください。最後の質問者は町の“しこみ”ですか？サイレントマジョリティはどちらでしょう？4億以上の税金を投入しての改悪は反対です。

駅前では、車は一方通行・速度制限などで十分に安全に通行できます。むしろ自転車の方が無理な運転で暴走し危険です。（交通弱者ではない！）自転車レーンの整備は急ぐべきです（4億は必

要ない)

一般車両は交通弱者のためにがまんしろと町長のご意見でしたが、全くの見当ちがいでしょう。町の道路が暗く、安全とは言えないので送迎しています。弱者である家族を守るための送迎車なのです。アンケートを一部とっただけで町の総意とは言えません。住民投票、それが無理でも回覧板にアンケートを添付して回収するだけでも広い意見が取れるのはありませんか？

☆星槎学園のスクールバスが駅前にある必要ありますか？狭いのに危険です。

4 西小磯

本日の説明会を聞き、初めて駅前の様子を変えようとしている計画の詳細を知りました。6月の町議選で配布されたものに、本件の賛否を聞いた候補者の考えを載せていましたが、課題の実態までは判らなかつたに違いない。周辺の安全安心とは、何の脅威・心配からの安全安心なのでしょう、安全安心とにぎわい創出とはどうかかわるのでしょうか。今回の説明でも理解できませんでした。資料には人身事故、物損事故の記載がありましたが、これは交通事故のことですね、7年間で5件の人身事故、現在のどの環境下に起因するのか分析され、一事例ごとに改善課題につなげているのでしょうか？説明はありませんでした。コンサルタントに委託しただけなのでしょう、事故の分析などしないで一般論で作られているとこうなるのですね。課題に挙げていること、どれもが間違っているとは申しませんが、現実現場の徹底分析からはじめない改善は失敗の原因になりがちです。

受託したコンサルタントも、こんな狭いところの仕事にはやりにくさがあったでしょう。仕事ですから受けて企画してみたが、腹の底からの自信は持てない、半ば心配しているのでしょう。ナニコレという例や、大枚かけたであろう無用な長物を作ってしまった小都市の例を見聞きしたことがあります。将来そう思はれないように私たちは心したいものです。小生は車での送迎をしたことも有りますし、バスの利用でも、そして今では歩きでも、駅前は良く利用します。形態に違和感はありませんが、不満はあります。表示標識の不整備は戸惑いや危険にもつながります。使われなくなった役所書類の受付ボックス、駅前の狭い歩道に永いこと置き去りにしていましたよね。メンテナンスの悪さです。狭い駅前ですが町の人たちはお互い譲り合ってやれていると思いますよ。迎賓館脇の狭い歩道は当たり前前に交差はできませんが、とても心温まる経験ができています。どちらかが必ずちょっと止まり体を少し斜めにします。有難う！どういたしまして！うなずきスマイルが交わされ交差する素敵なお道です。この心がけこそが大磯を訪ねてよかったと思ってもらえるおもてなしの一つではありませんか。

その狭い駅前に、タクシーが7～8台も並んでいるのを見る時は、なにか異様な感じですが。通信手段が発達している今、順次入ってくるような工夫はできてもよさそうに思いますよ。

天候だって晴れの日中ばかりでない。雨風の日や夜間のことなど、シェルターや照明、条件要素はいろいろありますが、この説明だけで、判断できるものでは、到底無い。

スウェーデンの少女Greta Thunbergさんがおこした、地球温暖化対策の運動は今世界の若者に大き

く拡がろうとしています。温暖化による台風の巨大化、風雨被害の甚大化、近いうちに起きる巨大地震、わが町の備えはと、町長に伺いたい。駅前整備とどちらの方が深刻な課題ですか。15号台風が50キロほど西側を通っていたらと思うとぞっとします。そう考えたら、駅前の課題などどうでもよい。明らかに迫りくる危機の課題に取り組む時です。千葉県の被害は、今私達が現実を見る目の見当違いに警鐘を鳴らしています。

5 西小磯

説明会に参加して、高齢化社会に鑑み「安全」「安心」は絶対必要条件であります。交通弱者を守るため施策に賛成です。

南側の東の一般停車スペースが4台分あれば、尚可です。

不測の場合は何処かに確保する様にしてほしい。

(安価で超小型の四輪電気自動車を開発し、産業を興し、駅前スペースを有効活用する様にすればよい)

6 大磯

よく駅を利用する一人です。

今までに不便を感じたことはありません。

狭い駅の広場を皆さんが譲り合って通行している姿を見ます。バスと歩行者、車と歩行者お互いに目で合図しながら渡っています。今の時代大切なことではないでしょうか。

今のままでよいと思っています。

直すなら白線と舗装をして欲しいです。

7 国府本郷

1. 駅前整備は平塚、二宮、小田原など、どこも大いにモめました。それだけ住民の生活に密着しているからでしょう。
2. 反対意見の多数は、「送迎用の車を留めておく場所が少ない」に集約されます。駅前東側ビル用地の取得も見込めそうですので、基本計画賛成です。
3. 超高齢化社会を目前にして、認知症や足の悪い人のことを考えれば、安全歩行は優先課題です。
4. 安全安心といった福祉面ばかりで賛成反対と言っていますが、地域振興、地域経済の活性化（観光額の増加、定住人口の増など）といった論点が抜けています。地域経済が活性化し、お金の回りが良くならなければ、若い人達から要望の多い子ども用の公園や運動広場の整備も実現できません。さらに地元の子育て中の母子達の就労の場が生まれれば、子育て環境も良くなります。若い人の働く場が多くなれば、老人の働く場も生まれて来るでしょう。
5. 駅裏から線路を渡っている既存の架橋を活かし、2階に改札を設ければ、人の流れが少し変わり、危険が分散できます。

6. 駅前西側にある庭（池、オブジェなど）は、必ず残すこと。撤去したら大磯の文化度が知れる。

8 高麗

駅前の滞留車を何とかしてほしいです。

旧駐輪場跡地を活用すれば良いのではと思います。

大磯らしさを大切にと私は思っております。滞留車が多いのは、事故に繋がるのではと不安視しています。

9 整備する事には賛成です。示された構図では、車と人、自転車の事故が起こるのではと気になります。

駅前の歩道の幅を5.7mに広げただけで、横断歩道の部分のより広げる歩道は無くす。横断歩道は少し距離が長くなりますが、安心して渡れると思っています。

10 高麗

駅前の歩道は、今のままで、旧駐輪場跡地を活用するのが良いと思います。

11 高麗

整備する事には賛成ですが、もう少し大々的に考えた方が良くと思う。

12 高麗

車道が狭いと事故が起きやすい。

歩道を今より広げる必要は無いと思う。

13 高麗

大磯駅前広場が、このままで良いとは思いません。

整備をしてほしい。

14 高麗

大磯らしさを残してほしい思いはあります。

但し、不安、危険、不便は困ります。

通院で、朝、駅前の横断歩道を渡っている時、危ない思いをしました。怖く感じています。安心して渡れるよう、整備していただきたい。

駅前をタクシー・一般車の乗降専用、旧駐輪場跡地を乗車専用を活用してはどうでしょうか。歴史ある大磯を壊さないことも大切ですが、新しい大磯を作る必要もあると思います。

15 高麗

大磯らしいイメージ、景観も大切ですが、安全な大磯であってほしいです。整備に賛成です。

16 西小磯

駅前は、今は私も年をとったので、歩いていてもはっとすることが多い。車のことも必要ですが、本当に大磯が好きなら、相手（町の職員）の話も聞かないとダメですよ。私達高齢者は声も出せませんでした。弱い者を大切にしたい。その次が車です。議員さんもいたのにあの様子を笑って見ていた。若い議員さんは何も云わない。どう考えているのかな？

17 大磯

78才のおばばです。小学校の駅の説明の会に出たが、車のことばかりでした。バスやタクシーは公園へ持っていけばよい。歩行者や子供や老人のことなど一人も気を遣わない。なげかわしい。いつこんな町になったか。また、町の職員をバカにしたり怒鳴ったり、拍手したり、そんな人たちばかり。良識のカケラもない。町が危なくないようにすると云っているのに、自分たちの車のことばかり。町長さんがあぶないままになっているから、今考えていこうと説明したのに、町長にひどい言葉を投げかけていた。とても情けなかった。こんな説明会はもうやらなくてよい。職員さんが良いと思うようにやってほしい。

18 国府新宿

「大磯駅前広場整備に関する説明会」開催に感謝します。

参加した感想。一言でいうと駅前歩行者の安全を真剣に考えてください。

大磯駅前の状況：説明会から読み取れた現駅の問題点は、

人身事故が0・1・2件／年（H24～30）

一般車滞留 雨天2,277台／日・晴天744台／日

町のアンケートQ：駅前は安全か？

町民の答え：安全でない12%+どちらかと言うと安全でない33%、すなわち45%安全ではない、と感じている。

アンケートの結果の理由は私の判断では、歩行者専用歩道が無いから。現状でも駅前が歩行者を軽視した作りになっているからです。

駅舎を出入りする歩行者に専用歩道が作られていない。だから、歩行者は車と交差することなく、駅舎を出入りすることができない。これは大きな問題と受け止めるべきです。

車社会だからこそ、歩行者を保護する仕組みが大切と思うのですが、現駅前広場は、車優先に徹しています。

以下はあくまでも、個人の質問と意見です。

要旨 (1) H13年から、計画を検討した経緯があるが、現在の車社会を考慮した計画なのか、立地条件から検討しましたか？

(2) 駅を東か西に数百メートル移設することも考えてはどうか？

(3) 近隣の駅を参考にして下さい。

対する町の応えは、概ね私の考え無視。現駅前を保存し、車優先かつ歩行者軽視に気付かず、計画を進めようとしている。

追加要望：駅前歩行者の安全を真剣に考えてください。現駅を守るのであれば、少なくとも、車道と歩道の分離を図って下さい。

鉄道駅は列車と人のインターフェイス（界面）です。

大量輸送手段の列車（電車）から出る大勢の乗客が歩行者となって、駅舎を通して町に出ます。大勢の歩行者が駅に集まり、列車の乗客となります。車社会の特徴は、毎日、大勢の歩行者とともに、バス、タクシー、一般車両それに自転車が駅前を通行することです。（一定の人口のある町で、と言う前提は必要ですが、）

注目すべきことは、多くの人が「徒歩」で、駅舎に近づきあるいは、駅舎から離れることです。貧弱な歩道は許されないとします。

安全安心のため

- (1) 現大磯駅前については、駅舎の前で人と車の平面交叉を止めること、現状にしるA案にしる、この平面交叉は起きている。平面交叉を避けるには車道と歩道の分離、あるいは車道の上に歩道を2階建てとする構造など、が必要です。
- (2) さらに線路北側からの駅アプローチを用意することなど、都市計画課の優秀な頭脳の活躍の場です。是非、近隣駅を参考としてください。

19 大磯

1、この件に関しては、じっくり時間をかけ、十分な調査、研究を重ねてまとめあげた大磯町起死回生の素晴らしい案と思います。古い「大磯町らしくないところ」を改善し、「大磯らしいところ」を残す、すっきりとした、まさに安全安心のにぎわい創出計画だと思います。「大磯らしさ」が助長される案と思います。信念をもって担当グループは前に進めるべき案と大賛成です。4億4千万と聞けば必ず無駄遣いだ、その金があれば、福祉子育てに有効に使える・・・、反対意見はいくらでも出てきます。しかしこれだけの素晴らしい案だから結果として採用されると確信

いたします。早めに4億4千万円の範囲を明記すべきと思います。例：電線の地下埋設、ルーフ設置の範囲、東西両川の歩道仕様、JRや県道などの持ち分費など。

2、説明会のムードは、提示資料も理解しようとせず、ただただ反対、何でも反対、案をつぶすことに生きがいを感じるような、ならず者大磯町民だ。声を大にして、この案の針の先の欠点を全くでたらめな案だと騒ぐ。行政の要は、やはり町会議員がいかに対応するか、ポピュリズムにやられてしまわないように、しっかりお願いいたします。

3、反対者は大磯らしさを求めたつもりが大磯らしさをつぶしてしまう集団です。なにもしない、何もしないで良き大磯を守る、そんなことは大磯をダメにし、滅亡させてしまうことをわからせなければならない。やはり要は町民に寄り添い貴重なご意見をすくい上げる、を明文のポピュリズムの町議会議員です。

4、説明会での執行部の説明は腰が低すぎる、信念を持って確実に進行させてきたのは我々だ、一番詳しいのは我々だ、で押してもらいたい、やくざ者を説得するのは骨が折れますが・・・。「いろいろこれからも意見を取り入れて、皆様の満足するものをしっかり追及していきます」の対応も考え物です。もう少し毅然と前に進めてもらいたい。例えば、西側松月前の歩道の仕様、風月前の歩道の仕様等は前向きにこうするのだとのアピールが欲しいです。「いろいろ意見を聞いて検討し皆様の満足するものを作っていきます」の発言も良くない、説明者が自信なくては直ぐに上げ足を取られる。やはりポピュリズム町会議員が問題ですね。

最後に「声なき声を」発言された方がいたが、声なき声をきちんと代弁するのは町議会議員です。

5、本日の説明会は一部では東側の旧駐輪場側の700㎡の計画や南側の空き地の本格公園化などについても聞けるものと思ってきました。この計画は大磯町の正念場と思います。

素晴らしい大磯町の景観を楽しみに来る人達は、大磯駅から何も遠望が無い、風光明媚、気候温暖、白砂青松など味わうことができない。住民は言う。「我々が大事か、観光客が大事か」このような愚問に対応するのは、やはり都市計画課の技術力、アピール力と町長の政治力です。

旧駐輪場跡地に展望タワーを設けてほしいと思います。ある者は絶対反対とのろしを上げるでしょう。計画案にあるように、1階はオープンスペース、2～3階レストラン街、物販等、その上に地上20mぐらいの円形タワー展望台を作る、レストランができればなお結構。「海千山千楼」「イソタワ」だ。富士山・丹沢・箱根・伊豆大島・伊豆の天城山、房総半島、これを駅前から見せることができる。これだけで大磯への年間来訪者が2倍の、200万人に増える、五年後には500万人になる。江の島タワーは誰が見ても不細工だ、名古屋城は目のくらむ大金をはたいて身障者など無視した木造名古屋城を作ろうとしている。熊本城は地震で壊滅になったのに20年も、すごい予算を使い再建する。なぜか、10年、50年、100年を見据えて費用がペイできると試算するからでしょう。定住人口を増やそうとしているのでしょう。ただただ感情任せのレガシー建設でやるのではないでしょう。

費用対効果の算出は大変むずかしいでしょう。タラレバを積み重ねてしっかりと崩れない

城を作り、やくざ者にも首を縦に振らせるような、つつましいはったりが必要です。これにも町会議員の対応がカギです。

見事に実現してほしいです。状況の良く似た先輩都市がたくさんあると思います。見做うところは見習い力の限りを尽くして実現してください。

好い所だけ「大磯らしさ」とアピールしましょう！

言うだけで、夢を追う 一町民の声なき声です。

20 東小磯

大磯駅前説明会の開催、町民の方の意見も聞けて、町のひとつの進歩と感じました。

町長の、安全安心、町民の声を聞く姿勢は大変良いことなので、しっかりと受け止めて下さい。町民は、現状のままで、道路の補修を望んでいます。それで安心安全の目的は当面、十分果たすことが出来ます。

大がかりの整備は、風月の裏・駐車場の奥の広大な土地を含めて、白紙から考えるべきです。大磯の町民は意識の高い人が多いですから、五年、十年かけて、町民の納得するプランを考えて下さい。

21 東小磯

大磯駅前広場整備に関しての説明会を開催いただきましてありがとうございました。説明会に参加した多くの方々の意見は貴重で、町民の意見と質問から伺うことが出来て、今さらながら整備の必要は無いと感じました。

安全安心という言葉でまどわされる所ですが、4億4千万もかけて整備する必要は無いのです。本来の目的は何なのか全く見えてきませんでした。議事録の配信を待ちます。

豊かな自然に歴史文化が香り、ほっとする素敵な町を基本理念として、駅に降り立った時のほっとする気持ち、譲り合い事故の少ない駅前は今ままで十分です。

もし計画案が素晴らしいというのであれば、シミュレーションをしたらいいと思います。送迎の車、バス、歩行者、自転車、タクシーの動きを一週間程テストしてはどうですか。財政難と口ぐせのように言われるのですから、お金を使わない工夫をして下さい。

22 国府本郷

大磯駅周辺とは

平成20年3月町議会で大磯駅周辺の安全安心の町づくりを求める決議がされました。

その内容については、県道の拡幅、町道48号線の整備が含まれると聞いています。23日の説明では道路については何も触れていません。大磯駅前整備だけになっている。出入口（道路）のことは何も考えなくて良いのでしょうか。

23 東小磯

現在の駅前で事故はほとんど発生していない。

最近、白線が引き直され、通行帯がはっきりし、これで十分では無いか。一般車の駐車場所が明記されていないなかったり、横断歩道が長い等の点も、現在の状況で安全では無いと思えない。むしろゆずり合いが出来ており、利便性の面で最善と思う。

今回の整備案は、住民の日常生活より、観光客優先で、歩行者に寄り過ぎた計画に思う。

舗装し直しと交通島の縮小のみで良いのではないかと思う。その予算を他にまわして欲しい。

今に不便を感じていない。計画有りきの計画で住民不在と言わざるを得ない。もっと説明会・アンケート・議論が必要。

現在多いとき、数十台の送迎車がいるが、数台の計画であふれた台数はどうすれば良いのか。

説明会に参加してみて、ほとんどの人が反対、町議も反対が多い。本当に町民が必要としている計画なのか疑問です。

東小磯の山側から平塚方面へ車で向かう際、駅前には普段通る生活道路であることを認識して欲しい。

24 西小磯

今日は、説明会お疲れさまでした。計画を知ることができて良かったです。説明や質疑応答を受けて、以下の意見を提出します。

- ・歩道を広げ、横断歩道を短くする意味は理解できるが、現在の案は、一般車駐車場所を考慮しなさすぎる。
- ・旧駐輪場跡地をどのように利用するか案とセットでないと意味が無い。
- ・旧駐輪場跡地を使えるなら、タクシープールをそこに持っていき、現在の案のタクシープールや交通島を一般車向けの駐車、停車スペースとしたら良いのではないか。
- ・説明会で聞いたタイムスケジュールではきちんと町民意見が反映されるか不安、もう少し時間をかけてもいいので町民が納得するよう、新しい案がまとまった時点で説明会を開いて欲しい。

25 東小磯

説明会を途中退席しなければならず、残念でした。意見をあの場で申し上げるのははばかられたのですが、申し上げておきたいという気持ちは残ったので、書かせていただきます。大磯に住んで10年足らずではありますが、大磯が大好きである身にとってがっかりすることが何度かありました。旧梨本宮邸のとりこわし、北浜海岸への津波タワー建設です。どちらとも知らないうちのでき事でした。今回は説明会を開いてくださっただけ、とてもありがたいと思いました。もしかしたら、私の気付かないところでは、お知らせがあつてのことだったのかもしれませんが。しかし、梨本宮邸に関しては、更地になってから知りました。津波タワーは広報で建設中とのお知らせを見て知りました。

津波タワーの方は思ったほど景観が損なわれていなかったのが良かったのですが、梨本宮邸に関しては今でも残念です。

今回も説明会を開いてくださいましたが、結局実行されてしまうのでしょうか？

今から白紙に戻すという選択肢はあるのでしょうか。そこが知りたかったです。

26 国府本郷

大磯駅を利用して、町内視察・観光に来られる方が増加しています。その方達が、駅前を待ち合わせの場所に利用されていて、駅前が人であふれかえっている場面にたびたび遭遇しています。雨の日などは、傘を使用しているので、特に大変。

待ち合わせ場所を駐輪場の前のところに設置するなど検討し、そこに誘導等を行い、極力、駅前に大勢の方が滞留しないよう、取り組んでいただきたい。

なお、駅前の路面等の整備は早急に行う必要があると考えます。構造的な変革は不要ではないかと考えます。

27 寺坂

寺坂から、大磯駅に行くのは非常に不便。直通が無く、バスを乗り継ぐか、二宮駅に行って電車に乗るかしないといけません。町内に住んでいながら、駅を利用しづらい。大磯町全体でもそうであるが、（大磯町）寺坂に定住するする人が増えない。住んでいても、若者はほとんど出て行ってしまう。

最近の大磯町の事業を見ていると、どうも観光客を増加させようとする動きを感じます。もっと住民を増やす住みやすい町づくりを目指して欲しい。見た目重視ではなく、変に背伸びをせず、身の丈にあった大磯町を目指して欲しい。

これだけのお金があるのであれば、中学校の給食問題の解決が先なのでは無いか。優先順位をきちんと見極めてください。

また、ロータリーの真ん中を突っ切る横断歩道がある駅を見たことが無い。正面である必要があるのか。駅の改札から回って、向こう側に行く距離と中央を渡っていく距離が、どれくらい違うのか。利用者の多くはバス停に行くために渡ります。バス停に行くまでの距離が回っていくのと中央を渡っていくのと、どのくらい違うのか。バス停の位置は結構左側。

不便だから送迎車が多い。雨の日の送迎台数を消化できるのか。バス停の位置の見直しといったことも考えられるのでは。

若い人の参加がない。学校を通じた配布があっても良い。地区掲示板などに貼ったり、もっと目に付くように、みんなに知らせて欲しい。

28 石神台

タクシーの待機位置と台数が優遇されすぎていると思う。

駅前広場から外せませんか。（駐輪場跡地とか…）通勤通学者とバスを優先してほしい。

29 大磯

長年にわたり、大磯海岸の海水客のために営業してきた駅前の飲食・土産物店が駅前広場整備後も、駅前において、何らかのかたちで（例えば縮小するも独立店舗、建物として）、残ることができるようにして欲しい。

30 大磯

23日の説明会では、現在の原案は白紙に戻して次の段階で再度新案を検討していくと言うことで理解しました。今後の計画を遂行するにあたり私の考えを提案させていただきます。

1. 総論としては、最低限の予算で最も安全で効率の良い駅前整備をすることと、出来る限り現在ある自然に手を加えないようにすることが、過去からの遺産として大磯の精神を守ることが重要です。
2. 今後の計画遂行に当たっては東側の土地の整備案から着手して整備計画を一期工事、二期工事と分けて検討することを提案します。
3. 一期工事の段階では旧駐輪場跡地に神奈中バス停、星槎学園バス停を移して、観光案内所、交番をコンビニエンスストアの西側に移す。
4. 二期工事では西側に現在の整備計画案に係る課題にある歩道の整備、Uターン対策、一般車の停車スペース問題を盛り込んだ案を検討する。
5. 西側の整備計画については、十分な時間をかけて利用状況を観察して利用者の意見を聞いた上で二期工事の整備計画案を練り上げることが後々後悔を招かない方策と考えます。
6. 特に一期工事でバス停を東側に移すことによって西側のサンダース前の通りを今まで通り双方向通行にしておくことで整備計画案に係る課題であるUターン対策、一般車の停車スペース問題は低予算で解決できます。

31 大磯

私は就学前の子供を持つ父親です。

駅前の整備の工事をやる、やらないに関しては、どうでも良いと思っています。（むしろ安全とバリアフリーについては大いにやれば良いと思っています。）

ただ、予算の内訳、出所など、予算に関しては分かりませんが、その工事をやることによって、大磯の子供達に対する予算が取れなくなりましたという論理は通用しないということだけ守っていただきたい。

それだけです。

32 西小磯

沢山の不満や不安が多くありました。

町民の方と接する機会をもっともっと作っていく必要があると思います。

今日の議事の見える化、議事録やVTR化を進め、見える化を図っていただきたいと思います。

役場の方々も町民に近い立場で町民の声を吸い上げる機会を作るべきだと実感した。

住民の方々は大磯を誇りに思っている方々ばかりでした。さ、みんなで頑張っていきましょう。

33 高麗

大磯駅前ほど、安全なところは無いと思う。ダンプなども通らない。そのままで良い。

34 西小磯

大磯町の住民のことを本当に考えているのか心配が多い。

町民の話聞く場なのに、町長の意見は聞きたくない。

35 大磯

風月堂、交番、観光案内所が無くなった時点で、そこも含めて計画を立てないと結局また計画の練り直しになる。早急すぎる。

私としては、その跡地にタクシー乗り場、バス停を集約すれば、今のままで駅前に変更させずに済むと思う。

こういう計画の常で、町はいったん決めた計画を絶対変更しない。今日聞いた意見を本当に取り入れる気があるのか、はなはだ疑問に思っている。

36 (不明)

町民が殆ど知らぬ間に計画を進め、この計画ありきの進め方がおかしいです。白紙にして下さい。

37 東小磯

周知の方法について、今までは行ってこなかったかもしれませんが、回覧板や掲示板を使用してください。町の一大関心事です。是非お願いします。町民の見えない整備があってはなりません。

38 大磯

1. 一般車の駐停車が少なくなることには反対
2. バス、タクシーは制限したら良い
3. 観光バスは別の場所に駐車させる。

39 高麗

新しい計画で是非お願いすること

- ・自家用送迎の場所を増やして欲しい（迎えは電車に合わせ、何分間か待つ必要有り）
 - ・ロータリーをまわりたい。（東からきて西に行くのでは、遠回りとなる。）
 - ・「歩くグループ」の集まる場所は駅前でなく、風月の後ろの広場とする。
 - ・SEISAの学校の送迎も「歩くグループ」と同様の場所
- ☆基本的には今のままで良い。

40 大磯

税金を使って変えても、事故は0にならないと思います。

試験的な案として、

- ・星槎学園のマイクロバスの乗り場を風月の裏として
- ・クリエイト側からの車はコンビニ側に一方通行として

以上です。混雑は多少違うのでは無いでしょうか。

税金を使うことには反対です。

又説明会を開いて下さい。

41 東町

今回参加して感じた事

- ① 「大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画策定委員会」の地元団体委員のメンバーを事前に公表すべきだった。今回参加の町民からは地元団体メンバーが町と結託した偏ったメンバーとの誤解を受ける。且つ何故そのメンバーにしたのか説明すべき。
- ② 過去に駅前で起きた事故について、人身と物損があったと紹介されましたが、各々の事故は何が原因で起きたのか？又これらの事故の原因は今回の整備計画により具体的に見直されるものなのか？
- ③ 平成29年度の検討の段階では、駅前広場東側の用地などを区域に入れられない事情があったと聞いた。今回この問題の解決の目途がついたよう様なので、根本的に整備計画を見直す必要があると思います。
- ④ 今回大磯小学校での皆さんの意見は、大半が現状維持でしたが、この方たちは、ほぼ東小磯・西小磯の方達で、家族の駅への車での送迎を必要とされている方達です。
地元団体のメンバーは大磯駅周辺の区長さんが中心でした。皆さん歩いて駅まで通う事が出来る方達です。駅への車での送迎を必要とされている方達への配慮が足りなかった。
- ⑤ 町職員の当日の意見交換の進行に問題があった。
当初高齢者・若者世代から幅広く意見を聞きたいと言いながら、高齢者の意見が圧倒的に多く、若者がいたにも係わらず、意見を聞く機会が少なかった。

また、発言前に名前を言う事と質問は1点としながら途中から徹底されず、だらだらとした流れになってしまった。一人不快なヤジを飛ばす人がいて周りもしらけたが、事前にこの様な人

(速やかな進行を妨げる人)は退場願うことを事前に伝えてつまみ出してほしかった。

⑥ この手の説明会は、意見を言う方は殆ど反対の方、黙って町の説明を聞いて理解したい人は意見をあえて言いません。会場全体が反対多数と思われるがちですが、どなたか最後におっしゃっていた「サイレントマジョリティ」の尊重はあると思います。大磯駅までバスで通う方、歩いて通う方の意見はどうなのでしょう。

⑦ 風月の後は、まずは大磯町民にとって最適の使い道になる事、その次に観光客を意識した整備にすべき。観光客が町に落とすお金より、大磯住民が町に収める税金の方がはるかに大きいはず。

ましてや年金生活の高齢者はもとより、これからの大磯を担い子育て・衣食住で町に様々な形で関わっていく若者世代の意見を十分取り入れるべき。

追伸

10月2日に開催され町長以下都市計画課の皆さんも協力参加された「大磯地方創生事業推進コンソーシアム 第一回全体会議で、IT関連企業各社から提案のあった「モビリティ・ソリューション」企画案につき、是非、駅前整備計画に取り込みを検討しては如何ですか？

「風月立ち退きが決定」した段階で、これらすべてを含め検討しなおすべきと思います。

42 赤坂台

大磯町に住んでいる人の為の駅前広場ということを第一に考えてください。観光客に対するへつらいは必要ないかと思います。大磯に来た人達は大磯に合わせれば良いことです。良い格好しいりません。タクシー、バス利用者もありますが、住民の送り迎えも不便な大磯では、とても大事なことです。広くもない駅前をバス、タクシー優先(今でも)にしてしまっても良いのでしょうか。

鎌倉も駅前開発してしまってから、住民はすごい不平不満を持っていると言っていました。

先にお金をかけなければならないところが沢山です。学校etc

43 国府新宿

今のままで良い。

歩行者、自転車、自動車の安全のための標識の明確化

4億円かける必要は無い。

44 大磯

これからは大磯に若い人を入れかえないと老人だけの町になってしまいます。

駅が変われば自然に周りも変わり、若い人達が入ってくる様になり、また店も増えて来ると思います。

広場整備は賛成です。

45 大磯

この計画を23日の数日前に知り、説明会に参加しました。

ほとんどの方が反対の様に思われました。

拍手や挙手で意見の人数をという方の質問も認められませんでした。何の為の説明会でしょうか。駅前広場は傷んだところを補修するだけにしてください。

この計画に反対します。

46 東京都港区、東京都渋谷区、横浜市

大磯で生まれ育った三兄弟です。大磯の自然が好きで子供たちも良く実家に遊びに連れて来ます。駅前の広場を変更するのは納得できません。

傷んだ道路を修復するだけにして下さい。

駅前広場の空間はそのままにして下さい。

この計画が大磯町民のためになるとは思えません。

もっと町民に早く知らせて意見を聞くべきです。

この計画に反対します。

(三兄弟に電話して意見を聞き、母親が代筆しました。)

47 大磯

大磯駅前整備に関する計画図には絶対に反対です。

「にぎわい創出計画」を駅前広場と結び付けて町民を納得させるのは無理。JRの駅のひとつだけの出入口は利用者の通行の安全と、人が滞留しないことが重要。グループで待ち合わせたり、休息したり、飲食する来訪者は、日々利用する町民にとっては（乗降目的で）むしろ通行の邪魔でイラッとする存在なのです。よって不足している滞留空間を旧駐輪場跡地にすることは賛成です。出会いの広場を意味するネーミングで。現在の計画（案）で歩道を部分的に広げるのは大反対です。交通の流れを隘路のように阻害し、人の滞留も起こります。車道との段差も複雑になり、人にも車にも危険が増します。今のままのシンプルなラインの段差で、車道路面の舗装面を全面スムーズにすれば現況の横断歩道でも十分機能すると思います。

「賑わい創出計画」が町の経済効果に結びつくかは不明ですが、大磯への来訪者が可処分所得の少ない高齢者が多いことを考えるとあまり期待できないでしょう。維新の元勳の別荘や吉田茂邸では、鎌倉、小田原などと違って、歴史が短すぎます。松本良順から133年、滄浪閣で120年程度、第二次世界大戦後の吉田茂では、リピーターは無理です。

続いて、町に考えてもらいたいことがあります。

明治、大正時代に大磯に別荘を持った政治家や財界の有名人は、軽井沢にも別荘を持った人も多く、その何家族かは、現在も軽井沢でゴルフ、テニス、登山、乗馬などを楽しみ、交際の場を持っています。

考えてもらいたいことは、大磯町民のルーツが違うという事です。

①明治以前から大磯で生活して来た人達で、平塚や二宮などに婚姻関係を持つ地元の人々「地のモン」とも云います。②別荘族だったが、大戦後も大磯に疎開したまま現在も暮らしている。③大磯の豊かな自然に魅せられて他の土地から移住してきた人達。

3者それぞれ考え方が違いますが、私見では大磯町が最も大切なのは豊かな自然です。子孫の世代迄大切に保全して欲しい事ですが、①の最も長い地元の方にとっては負担が重いことです。歴史価値の短い大磯にとって、町の歴史を創って行くのは、上記の町民の皆さんです。子孫にプライドを持って、借金まみれで無い大磯町を残して行けるような町政を実行して下さい。

48 東小磯

駅前広場を整備して、歩道スペースその他を拡大すると、送迎の一般車の駐車スペースが減少して、大混乱することが想定されます。特に雨天時における車の入出は現在も大きな渋滞を導き、国道一号に向かう東西の道路が車でいっぱいになります。この整備計画は住みにくい大磯町を作るだけだと思います。

☆予算があるなら、代替の提案をさせていただきます。

駅の東側県道の駐輪場下のカーブ、青い鳥アートスクール前のカーブが狭く、バスとバスのすれ違いはもちろん、バスと乗用車でも、すれ違いが困難で、交通事故の原因となると思います。

カーブの道路と歩道を拡大して、安全な道路にしていきたいと思います。

49 東小磯

大磯駅で通勤の時とかに歩道が狭くて困ったことは、ほとんどありません。それよりも雨の時は特に車がすれ違うのが大変だったり、線路沿いの細い道も車が多く通ります。大磯は坂などが多いので、自転車よりも車で駅に送り迎えが多いと思います。住みよい町のためにも一般車の乗降がしやすいプランにしていきたいと思います。一度、通学や通勤時に通行量の調査をしていただきプランに反映していただきたいと思います。

私は歩いて駅までいくため、現状のままでもあまり不便を感じません。予算があるのでしたら、東小磯のセットバックしている道も増えているので、もう少し町道の幅が太くなるように整備して行って欲しいです。緊急車両が入れないところも多いので。

50 東小磯

説明会に出席しました。80才を過ぎている女性です。駅前の整備計画案のお話を聞きましたが、まず、横断歩道を短くする必要は全く無いと思いました。信号機が無いのですから、信号が変わる前にわたり切る必要はありません。80才を過ぎていても走って渡った事は一度もありません。もし年をとって歩きが遅い方や障害を持った方々が横断しようとしていたら、車はその方々が渡り終わるまで待ったとしても、10分、20分はかからないでしょう。今までゆずり合い、待つので続いて

きた大磯ならではのやり方で、日本の中にそういう町があっても良いと思います。

飲食店が町の計画の為に提供というお話がありました。むしろそちらを有効に使う事、それも町民の考えを十分入れて、考えていった方がよいと思います。

51 西小磯

- ・西側ロータリーを一方通行にするのは、とても良い案だと思います。
- ・松月の前の歩道は、段差を無くしたとしても、見た目が悪くなるので、無い方がよいと思います。(今のままで良い)
- ・〔駅舎前の横断歩道〕の問題は、駅前道路がくびれることです。一度細くなった血管にはなかなか血液が流れにくくなるのと同じで、横断歩道を短くして、駅前の歩道をふくらませると途端に交通がマヒを起こすでしょう。それだけは絶対に避けて欲しいです。現在片側2車線両方で、4車線あるから大丈夫なのに、これで相方1台ずつしか通れないとなると大問題です。

観光客ファーストならば、駐輪場の方のスペースで何とかして下さい。

住民ファーストならば、片側2車線ずつ、しかも駅前ベンチは大事、駅舎内もラウンジ風にしてもらいたい。弁当を売るべし！！です。昔のように、こゆるぎ茶屋とか、あじ寿司などみやげ物や弁当屋が必要。4億円あれば、ラウンジも可能。駐輪スペースと合体も…

補足

1952年の小津安二郎の映画で『お茶漬の味』というのに、大磯駅が写っています。大磯の御嬢さんという役の子と駅が出て来ます。67年前なのにほとんど変わっていません。素晴らしいことです。これが品のある文化では無いでしょうか？

100年先、200年先もおもむきのある落ち着いた町であるよう願います。

52 東小磯

駅東側との一体整備とすべきです。東側をそのままにして駅前広場のみの整備を先行させる事に反対です。

理由

1. 駅東側との一体プランが必要
2. 今回の整備計画では、タクシーの待つ場所が少なく、5～6台の待ちタクシーで一杯になり、利用者に不便になる。(夜、雨が降っている時でも、大磯駅はタクシーが利用出来る)
3. 現況で全く不便を感じていないので、急いで部分的整備を行うより駅東側との一体整備とすべきだ。
4. 駅整備プランでは西側に行くタクシーが大磯図書館方面に行き、国道一号の信号を右折する事になるが大変不便になる。国道一号の右折で混雑も予想される。

53 大磯

雨の日を含めた実証実験は必須です。交通渋滞で駅前まで予定した時間に到着できなる事は絶対回避しなければならないと考えます。

安全安心・歩行者最優先の考え方を否定はしませんが、考え得る限りを尽くした案とは思えません。バリアフリー基本構想も反映できていないのでは？ 駅に送迎が必要な人も、ある意味弱者です。修正案の説明会を開いた上で、（意見は全て公表）の意見募集を求めます。

54 小田原市

- ・計画反対
- ・4.5億 どこから金を集めるか？
- ・広場整備ありきの説明会ではないのか。（アリバイ）
- ・観光客増加→10年後、20年後も考えられているのか。
- ・観光客がどれだけ大磯にお金を落としていくのか。
- ・大磯のふるくさい、不便であるetcを含めて移住している人もいる。

55 東小磯

大磯駅前広場整備の前に

車椅子の上から、駅周辺の困ったこと

駅前、不便なの?!

実際に車椅子で進んでみると、大磯駅前には移動の難しさはありません。混雑している時間帯であっても、譲り合ってスムーズに進みます。それはどの人も急いでいるように見える大都市の駅や駅前空間とは違って、人の温かさと心地よい爽快感を感じさせてくれます。多くの訪問者にとって海と山のある町に降り立った、という気持ちの良さは素朴で小振りな駅舎の可愛らしさと相まって高まるようです。

しかし、「大磯駅周辺」となると、駅から国道1号に向かって伸びている道路上で、車椅子やベビーカー利用者にとって困難が多々あります。このレポートではそれを具体的にお伝えします。

ガードレールが邪魔…!



この3点の写真は駅から伸びている主要な道路で、どちらもガードレールのある1m以内の狭い歩道がついています。

東側（図書館方面行き）の歩道は人がひとり通るのがやっとです。!西側（大磯小学校方面）は荷物の無い大人ふたりが並んで歩くのが精々なほどの幅。どちらも対向する歩行者とのすれ違いが難しいのです。

私が車椅子でやってくるのを見つけると、対向する歩行者はすれ違いが不可能なので、車道を歩こうとします。けれど、車道に出ると、ガードレールが長く続き戻ることができないので、数十メートルをずっと車道を歩くことになります。

とは言え、車椅子やベビーカー利用者が車道を進行することも不自然です。というわけで、肩身が狭く申し訳ない思いがするので、

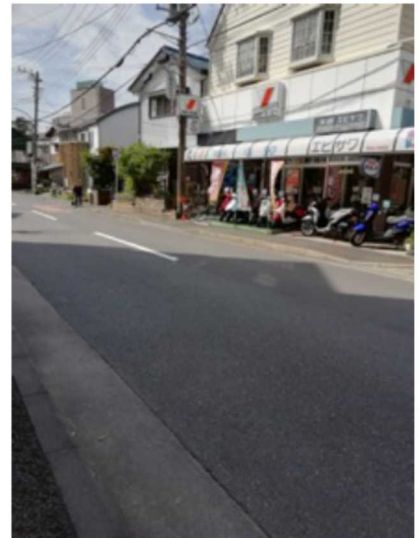
この道は使えません。実際にベビーカーや車椅子でガードレールの中を歩いている人を見かけたことがありません。これを解決するには、ガードレールを撤去する、または切れ目を細かく入れるだけでは、歩道と車道の「段差」が大きく、車椅子では車道側にはみ出して避けることはできません。

段差はどれくらいならバリアフリーと言える？！

ここで段差についてお伝えします。多くの電動車椅子は5 cm 以内の段差は乗り越えられるように設計されています。手動の車椅子は、介護者がいる場合には手前の車輪は小さくて乗り越えられないので、後ろ向きにして乗り越えます。度々は大変です。

介護者のいない手動の車椅子で、訓練を積んだ人は持ち上げて乗り越えることができますが、困難を伴います。駅までの道のりで何度もそのくり返しは大変です。段差が5 cmを越えると大型の電動カートでないと難しいです。

どんなものにせよ、車輪のついた移動具は車輪に対して垂直方向の段差であれば乗り越えられるが、脇にずれることはできません。脱輪のような状態になり、それを立ち直らせるには車道に大きくはみ出して車輪を歩道に垂直に構え直さなければなりません。段差は大敵ですが、許容範囲はあります。



傾斜も問題なんです！

右の写真のような水平方向、垂直方向ともに傾斜のある狭い歩道は、車椅子、ベビーカーには運転の困難が伴います。うねうねして操作が難しく、車体が流れて車道に飛び出してしまうます。これは通行する車には予測のつかない行動なので、とても危険です。



バス停や障害物も配慮が必要！

大磯駅の西側から国道1号に伸びるこの道では、1mほどの狭く傾斜のついた歩道上にバス停留所があります。ここにバスを待つ人が立っている場合には、歩行者も車椅子利用者もベビーカーも通ることができません。



車道側に膨らんで通行するしかないのですが、段差が大きいいため、車椅子利用者は降りられません。従って、ここも車椅子は予め車道を通ることになります。

解決策としては、大磯小学校の前のように、歩道と車道の区別が白線と色分けでなされているのが、一番通スムーズかつ安全に通行できます。もし、車の歩道内への侵入が心配ならば、数メートルおきにポールを立てると良いのではないのでしょうか？このとき、ポール間をチェーンで結ぶことは、車道に膨らむことができないという点と足を絡める事故が起きる可能性という点で推奨できません。

狭い歩道の上に見通しの悪い箇所



上の写真は駅前の見通しの悪い曲がり角です。ここは歩道の幅が1mほどしかないのに加えて、商店の植栽が張り出しており、対向する歩行者や自転車が見えません。自転車は軽車両のため車道左側通行が原則ですが、厳守はされていないのが実態です。

「大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業」

「大磯駅前周辺安全・安心」という意味では、駅前の横断歩道の長さが解決策のようです。しかし、横断距離が短い＝安全ではありません。現状でも、車は徐行しているので危険を感じたことはありません。混雑の一因は、駐輪場が駅東側にしかなく、西側から来る住民が駅を横切り、駐輪してまた駅に戻るという動線の悪さから来ることではないでしょうか？これは不要な混雑ですので、西側にも駐輪場を設けることを提案します。

横断距離を短くして得られる歩道の幅の拡張ですが、駅前の歩道は現在でもゆとりのある幅であり、混雑時は譲り合って使っているのが現状です。それに比べると、譲り合いたくても譲り合えない歩道が国道1号に向かって伸びている現状の解決を急いでいただきたいと思います。上は車椅子でバス停のある歩道を通行した場合。60cmの車椅子は決して大きくありませんが、それでもギリギリの幅です。



56 国府本郷

1 安心、安全性の向上

- ① 駅前広場の利用者、通行者にとって、事故等の無い安全な又安心して利用できるスペースの確保が望まれる。
- ② どこまでが広場かは、民間施設もあり、不明とのことであるが、東西に長く、南北に狭い施設である。このため、何を優先するのが重要。

2 利便性の確保

- ① 駅（交通の基点）の性格上、JR利用者等にとって利便が低下してはならない。「大磯らしさ」「景観」等も必要であるが、かね合いが必要。
- ② アクセスの必要性～バス、タクシー、自家用車などの駐停車を適切に、効果的に。

3 将来のスペース拡張の余地は？

57 西小磯

結論から申しますと、この整備計画には反対です。

理由1 大磯町は東西に長い町で交通の不便な地域も多く、駅まで送迎をしなければならない人達が多いです。この計画を実行すると、小学校前、図書館前の道路が送迎の為に渋滞が起り、公共交通タクシーも問題が影響します。住民の生活も考えて頂きたい。

2 この計画は大磯に来られる観光客優先のような気がします。午前10時頃集合する方々が多いので、日中はとても静です。

希望として、住民が安全安心して駅前を利用できるように、傷んだ道路の整備などに力を入れていただきたい。他の地域の方、藤沢、鎌倉、平塚等、駅前整備をしたため、自家用車の乗り入れ時は困難で住民も大変と聞いております。貴重な税金です。よく考えて頂きたいです。

58 藤沢市

強く反対です。20才まで大磯で過ごしました。

59 藤沢市

大磯の駅前の雰囲気が好きで、季節ごとに散歩に来ています。変様は誠に悲しく残念なことです。その様な計画の中止を強く望みます。

60 東京都世田谷区

設計の仕事をしています。

大磯の駅前は唯一無二の場です。

ロータリーはそのまま残すべきです。

知性、良心のある選択を切に願います。

61 東京都世田谷区

大磯駅前の雰囲気が変容する事に強く反対します。
戦前に別荘があり今でも大磯はほこりの土地です。

62 東京都港区

別荘を売却、戦後、東京に移りましたが、駅前が変わってしまう事は残念です。

63 大磯

大磯の駅に降りたつとホッとします。
駅前の雰囲気が損なわれることは残念極まりなく、また寂しい限りです。

64 東小磯

「青い鳥がここにいる」

鎌倉に生まれ素敵な青春を送りました。1960年代までです。町並も駅前もホッとできる安らぎの空間でした。しかし、今や、鎌倉は帰りたくない故郷になってしまいました。これは決して感傷的な郷愁などではなく、人間が生き物として喜々と楽しく生きられる環境であったからだと思います。

失意の内に、10年前、大磯の駅前に降り立った時、そこに「青い鳥」がいました。その「青い鳥は」「楽しい不便」を餌にして、「懐かしい未来」を産み出すのだと思います。

私達は、譲りあい助け合うことで、この「青い鳥」を見守り育てていかなければと思います。駅前は、現状を保持工夫していくのがベストです。たまに町外、外国の方の来磯を迎える仕事をしていますが、皆さん異口同音に駅前を絶賛されています。

65 国府本郷

長年にわたり駅前整備を検討されてこられたようで、ご苦労様です。しかし、もう計画を実行（一部でも）すべき時期と思います。

今回の整備計画（案）に基本的に賛成です。雨天の朝が最も混み（滞留）するので、①時間を調整してもらう（利用者が利用時間を早めるか）か、②できるだけバス利用をってもらうという利用者側の理解・協力が必要

また、駐輪場との一体計画も良いことだが、現計画と合わせて整備となると、数年先になると思われる。整備を一次、二次として考え、現行の課題解決を優先させた方が良いと思われる。

できるだけ駅前の雰囲気を残すべき。交通島の縮小は致し方無いか…

66 東小磯

町民への説明が遅いし、実行ありきと言う態度が感じられてしまう。440百万円をかけて行う事業と思われないので、白紙に戻し、現状のままを望む。

(理由) ①中学校の給食問題を含め、町長の対応への不信感が強い。

②予算が多すぎる。誰が試案作成したか、また算出根拠が不明。

③実質的な面として、50年以上大磯町を利用しているが、不便さは感じない。

④狭い場所なので、どこかを変えれば他のどこかにシワ寄せが出ることは判る為、新たな不満が出る。

⑤安全面では、歩道の自転車走行や長時間駐車禁止の徹底を関係機関と連携、強化すれば良い。

⑥景観を大事にしたいという意見には賛同、その為、以前のようにロータリーに桜の植樹を望む。

⑦風月裏の土地はバス、タクシーの為に活用する。

67 東小磯

最大の問題点は、スペースが狭いこと。

「風月堂」か「松月」または両方に移転の願いはされていると思いますが、それがないと根本的に改善にはならないと思います。

公共のためお願いしてみてください。

68 高麗

1) 車が一番。自転車、歩行者それぞれがマナーを持って行動を。特に、バス利用の場合、電車利用の接続で忙しすぎか。

1) 車のロータリー無いのUターンは標識等の設置に依り指導を

1) 客待ちのタクシーは最高で4台駐車、後は旧駐輪場を簡易舗装して、又一般車用送迎車と区別して利用

1) 電車改札口横断歩道部に手動式信号機を。依って横断歩道の為に車道を狭くする必要は無し

1) ロータリー内の池島は常に手入れをして景観を良く。

1) 駅に向かって東側線路沿い旧駐輪場脇道(県道)(坂道)のバスを除く一方通行にしては。歩行者も安心

1) ロータリー内の店、シャッター、交番、観光館案内所を美しく塗り替えを

69 東町

新計画図面を見て、今までどうかなと思っていましたが、車の流れがスムーズになると納得しました。Uターンなど勝手なドライバーが居ましたので、安心しています。

70 西小磯

○整備計画図(案)は反対。大磯らしさが完全に失われる。

- 現状のままでも、工夫して改善できることはあると思う。最初から全てお金をかけて造るのはどうかと思う。
- 横断歩道の駅舎側が待機タクシーで見えにくいならば、タクシーの待機位置を少し後ろにずらして走行車の停止線と差をつければ見やすくなると思う。
- 観光案内所前の滞留区が少ないと問題視しながら、整備計画案には何も具体案が示されていない。
- 駐輪場跡地が活用できるなら、そこを送迎車用に整備すればいい。
- 駐輪場の南側の広場を待ち合わせ場所として整備できないのか。
- 自転車の通行路を示す矢羽根は見た目が悪い。大磯らしくない。
- 今まで、規制が特に無くても大きな問題は無かった。まずは駐輪場跡地を送迎用に整備すれば、長時間の路上駐車は少なくなる。送迎場が出来たら、路駐はちゃんと取締りすればいい。

71 西小磯

説明会の資料及び説明内容は、原因となった事象（交通事故など）とそれに対する対策（計画図）との関係性が、まことに不明確であり、全く説得力がない。例えば、人身事故に関するデータにしても、単に各年度の件数が示されるのみで、それぞれの事故の発生状況（事故発生の時間帯、天候、事故の態様、ケガの程度など、具体的な改善の根拠となるファクター）が示されておらず、また、他の場所（特に他の駅前）における発生件数との比較データも無いので、そもそも示された件数が多いのか、少ないのかすらも不明であり、このような乏しいデータで計画図を納得すると本当に考えているのか？町民をバカにするにも程があるというものであろう。このような「結論ありき」の説明は到底認められず、「現状のまま」の他の選択肢は考えられない。

72 西小磯

- ◎町から提示された計画案では、駅前の狭い道路がより狭くなり、送迎や所用で車を使用せざるを得ない多くの町民の車両の駅前スペースへの出入りが非常に不便になる。特に雨の日などは周辺道路の渋滞を引き起こすと思われる。駅前の車両の通行がスムーズでなくなれば、自転車や歩行者の通行も今以上に危険になる。
- ◎歩道の拡張は必要ないと思う。観光客到着時一時的に駅前が混雑する問題は、次の方法で回避できると考える。
 - ・ 駅東側の旧駐輪場跡地を含む一角を整備し、待ち合わせ場所や休憩所を作る。
 - ・ コンビニやキャッシュディスプレイ、クリエイトなど付近の施設や商店の方向を示す案内をわかりやすく提示する。
- ◎東側スペースの地権者の理解を得られたとのことであるから、その活用計画を含め駅前の整備計画を作り直すべきである。駅前レイアウトの改悪のために無駄な費用をかけず東側スペース活用のために有効な支出をすべきである。具体的には
 - ・ 駅前の歩道の幅は現況のままでよい。

- ・道路の舗装、横断歩道や自転車の横断誘導の為の線を引き直す
- ・西側ロータリーの交通島を小さくして見通しをよくし、一般車両の一時駐車場を作る（タクシープールは現況の場所に設置する。）

等を提案する。

◎説明会で参加者全員の挙手による計画への賛否の確認が提案されたが、議事進行者がそれを無視して行わなかったことで、実際に駅を利用している町民の意見を無視して計画を強行するつもりなのかという思いと町行政への不信感が募った。全員が意見を言う時間がないのだから、せめて挙手で意思を表明させてほしかった。

73 大磯

私見を申し上げます。今回工事の一番の理由は身障者の方が、横断歩道が長過ぎて渡り切れないからと聞いています。確かに不自由な方にとっては長すぎるのかと思いますが、但しこの工事に掛る費用が4億円以上とも聞いています。町の運営は企業の経営と一緒にBS/PLが最も大事なことです。全て町税ですから、そこで費用対効果を考えた場合、身障者対策として横断歩道の中間に分離帯を設置してみてはどうか、又、バスの対策として長年慣れ親しんできましたが、西側植栽エリアを取り外してみてはどうか、又、今回の費用の1/3程度で風月堂のある土地を購入してそこを利用してはどうか。

いずれにしても最初に工事ありきではなく、一か月程度でも良いので、木片やブロック等で計画図と同様の策を設置して町民に利用してもらい、その結果を参考にする必要は絶対にあると考えます。最低限まずシミュレーションはするべきと思います。

(信号がないのに渡れないというのも、車が十分待ってあげれば良いのでは)

74 大磯

いったいどこから（誰から）このような計画が持ち上がったのか不思議でなりません。

先日の説明会でもほとんどの住民が反対でした。

住民からの質問に対して納得できる回答も得られず、賛否の挙手の要求にも対応してもらえませんでした。

もし4億4千万円もお金をかけてこの計画案の工事がなされたらどうなるでしょう。

駅周辺の渋滞と駅前の道路が狭くなったことでの交通事故は増えるでしょう。

ほとんどの住民が反対しているのに強硬に進めていいのでしょうか？

75 国府新宿

久しぶりに町民説明会に出た。もっと早く説明会をすべきであった。色々の思いで想像し、決定されている（出来レース）と考えてしまっている。

- ・安全安心（アンケートの内容）を考えてほしい。

- ・大磯らしさを残してほしい。
- ・金を余りかけないでほしい。

76 大磯町

若い人達は、車のことばかり云っている。小学生も老人も皆の駅前です。あんな町の職員や町長にどなっている話し合いは悲しかった。若い人は相手のことを思う人が大磯人と思っていました。お金はかけない方がいい、昔のままを望んでいるが、少しのお金は必要。もっと早くに考えて欲しかった。

77 高麗二丁目

駅前広場整備計画への提案

はじめに

いつも町民のために様々なご配慮・ご尽力、ありがとうございます。先般9月23日の「駅前広場の整備について」の説明会（午後：大磯小体育館）に参加させていただき、駅前整備計画の現状について拝聴いたしました。当日は色々と町民の厳しい意見も聞かれ、中には筋の通らない意見や、単なる茶々入れのようなヤジも飛んでおり、日夜一所懸命にお仕事をされている町役場職員の方々の心中をお察しいたします。どうか今後も前向きに取り組んでいただきたいと願うばかりです。

整備計画への賛否と理由

2.1 賛否

私個人としては駅前の整備には賛成です。ただし、先日の説明会でもお話があったとおり、駅前広場東側（風月堂、交番、観光協会およびその裏の空き地）を整備計画敷地に含めることができるとなると、かなり選択肢が増え、これまでの整備計画はほぼ白紙に戻るのではないかと考えています。

2.2 理由① 高齢運転者の事故増加

大磯駅前に限った事ではありませんが、社会が高齢化し、高齢の運転者や歩行者が増えることにより、従来よりも事故の危険性が高まっていることは、昨今の報道などを参考にするると確実だと思います。特に大磯駅前の広場は、「みんな譲り合っている」という意見もありますが、歩行者と自動車、自転車の動線が複雑です。これまで事故が無かった（もしくは少なかった、軽微だった）からといって、これからもこの傾向がずっと続くでしょうか。私はそうは思いません。事故が増える可能性の方が高いでしょう。

明治記念大磯邸園の開園をはじめとして、いま大磯町としては観光にも力を入れているはずです。町外からの来訪者が増える中、注意力が散漫になってしまう観光客がいたり、国道1号の迂回路として駅前を通る都会からの通過者もいるはずです。町外からの来訪者、通過者が全員マナーの良い運転者であるとも限りません。町内の在住の方が被害者になる可能性のみならず、加害者になってしまうことも十分にあり得ます。お地藏様が1体、2体と増えていく駅前は、私たちが望む平和で落ち着いた駅前とは違います。

さらに1件でも事故が起こってしまうと、今度は手のひらを返したように、「度々危険が指摘されていた駅前を整備することなく放置した」となり、町役場の方々が苦しい立場に立たされてしまうことも懸念しています。今の駅前が「最高で何も問題がない」はずはありません。

2.3 理由② 歩行ニーズの高まり

大磯町では観光に力を入れています、その観光は観光バスなどで都会から大勢の人を招くような観光ではありません。緑が豊かでひっそりとした、落ち着いた雰囲気の中で自然や文化に触れる形の観光です。そのような観光は「徒歩（まちあるき）」が基本です。

ここ数年はガイド協会の尽力や町内各所での市民イベントなども多く開かれており、徒歩や自転車で町内を散策する観光客が多く、大磯駅舎前に集まる方々をよく見かけます。ただ、駅舎前の歩道の幅が狭く、通れないほどではありませんが、少し窮屈です。駅舎前の歩道が少しでも広がったら、住民も観光客もより快適に駅前でのひと時を過ごせるのではないかと思います。

また先に記載したとおり、高齢の運転者が増えると同時に、運転免許を返納して徒歩や公共の交通機関を利用する動きも広まってきます。さらに、20年後、30年後には、現在「高齢者」と呼ばれる人々は殆どいなくなり（自然減）、その代わりに車離れした今の若者たちが主役になります。

次世代の交通の主役は徒歩・公共の交通機関です。マイカーを少し窮屈な立場に追いやっても、歩行者のための街づくりをする動きは国内・海外とも広がっています。

【参考URL】

国土交通省：https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi09_hh_000052.html

日立製作所：

http://www.hitachi.co.jp/rd/portal/highlight/vision_design/future/city_home/green/walkable/index.html

整備方針への意見

3.1 タクシー乗り場、待機場所の移動

大磯駅舎は大正5年に作られた歴史と趣のある駅舎であることは町民であれば皆知っていることですが、その歴史ある駅舎を町のシンボルとして活用するためには駅前ロータリーのどこからでもその全容が見えることが望ましいと考えます。そのためには現在駅舎前に列をなして客待ちをしているタクシーの行列をどこか別の場所に移したいと思っています。

今回「駅前整備計画」の敷地として含めることが許可された、風月堂、交番、観光協会とその裏の空き地はそのタクシー待機場所を移設するのにうってつけの敷地だと考えます。歩行者、自転車の動線を一部遮る箇所が出てきてしまいますが、一般の運転者よりも技術やマナーの高い2種免許を持つタクシー運転手であれば、それほど危険はないものと考えます。

3.2 駅舎前の歩道の拡充（待合スペースの確保）

タクシー乗り場を移設すると、現在のタクシー乗り場、および待機場所のスペースが空きます。この空きスペースを歩行者、駅前で待ち合わせを行う人々のスペースに変えれば、街歩きをする人々で駅舎への出入りがしづらくなることもなくなるでしょう。また現在のタクシー待機場所を歩道とすることにより、駅舎前からタクシーの影が消えて、駅舎の全容がロータリー内のほとんどの場所から見えるようになります。こうすることにより歴史的建造物である駅舎を町のシンボルとしてより一層際立たせることが出来ます。

3.3 緑化

移設後のタクシー乗り場、待機場所には樹高10～15m程度の高木を何本か植え、日差しの強い夏に木陰を作るようにします。夏場に客待ちをするタクシー運転手にも喜ばれるでしょう。

拡張した駅舎前の歩道にも人の背丈よりも低い低木を植えることにより、マイカーからの視認性を確保しつつ、駅前の落ち着いた雰囲気情勢にも役立つことでしょう。

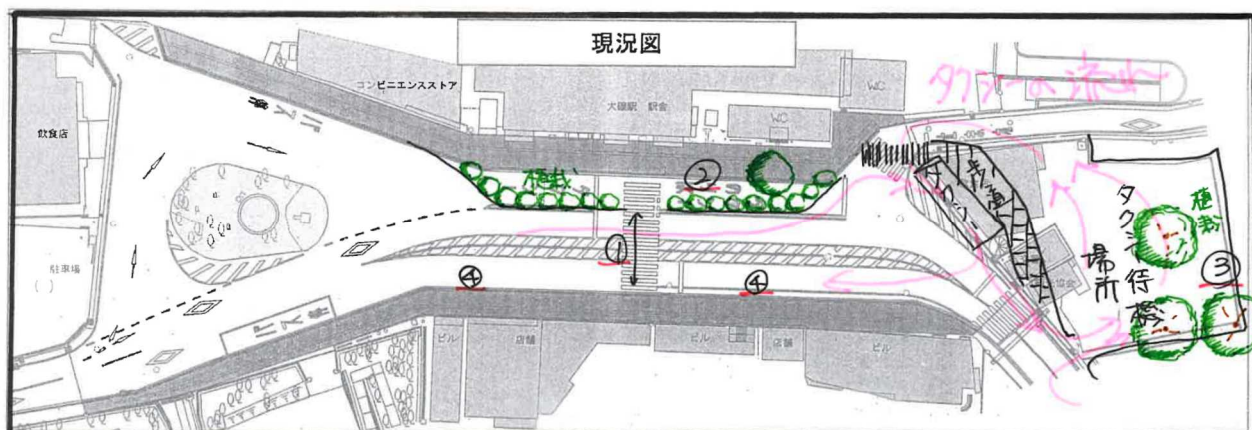
おわりに

ひとたび今回のような説明会を聞くと、声の大きい人の意見ばかりが目立ち辟易していますので、このように文章などで意見を届ける機会を設けてくださったことに感謝いたします。

言葉では伝わりにくい部分もあるかと思いますが、別紙に図面案を添付いたしました。（落書き程度で恐縮ですが）是非参考になさっていただければと思います。

駅舎を町の文化財に指定することにより、保全に努めることを含め、町民・来訪者にとって過ごしやすい駅前になることを期待しています。よろしくお願い致します。

[別紙]



①駅舎前の横断歩道を短くする。〔事故防止〕

タクシー待機場所を移動することにより、マイカー運転者からの視界を確保〔事故防止〕

②歩道の拡幅…町歩き観光客向けの待合スペースの確保

③木陰の創出

④マイカー用乗降スペースは現状のキャパシティを維持

78 国府本郷

大磯駅前広場の整備計画について

(1) 観光協会・派出所・風月の建物の移設

この建物を後退又移転させ、広がったスペースに道路・歩道や小休止できる場所（小規模公園）を設け、西ロータリーの樹木・記念碑を移転する。

歩道を設けることにより、東線路沿いを通行する大磯小中の児童生徒、大磯高校生の通行の安全を図ることができる。また、憩い空間にもなる。

(2) 県道の拡幅

県道の拡幅は、歩道の拡幅、乗合いバスの通行（大型バスは交互通行ができず立ち往生することが多い）の流れを確保することができ、駅利用者の上り下りの歩行が安全かつ楽になる。

(3) 南側公園用地の一部用途変更

公園用地を一部活用し、駐輪場に入るバイク入口の走行路を直線的（現状ではクランク）に改良することにより、安全でスムーズな入場ができる。

また、(1)の小規模公園の用地も少し広がる。

なお、(2)の歩道の拡幅にもつながる。

(4) 西ロータリーの縮小と車両の流れの確保

現状では、バス、一般車の乗降、駐停車で混乱し、安全が保たれていない。

今の交通量では、樹木・記念碑の移転はいたしかたない。

このため、交通島を必要最小限にし、自動車、乗合いバス等の車両用の空間を広く取ることが必要である。

この縮小、移転により見通しが良くなり、自転車を含めた一方通行（ロータリー式）のスムーズな車両の流れを確保できる。

また、駅舎前の滞留空間の計画をコンビニのまえあたりに設けることもできる。

(5) 自転車の走行路の確保

大磯町営自転車駐輪場は、駅に近く便利のため、通勤通学者の自転車の利用は年々増加している。

しかしながら、現状において、ルール無視の自転車が駅舎前の滞留場所で下車せず、乗車のまま、通過する者が多くあり、駅の乗降客との衝突が懸念される。

また西から東に向かう自転車の右側通行の逆走も危険だ。

この対策には、十分な検討が必要であるが、自転車用通行帯の確保や、明確な交通表示の設置等で安全を確保することができる。

こういうことからすると、計画案にある駅舎前の滞留空間の確保と横断歩道の短縮は、駅広用地全体があまり広く取れない中で、困難性があり、また必要ないのではと思われる。

(6) 通学路の確保

(1)の建物の移転により、通学路として広い歩道が設けられること。

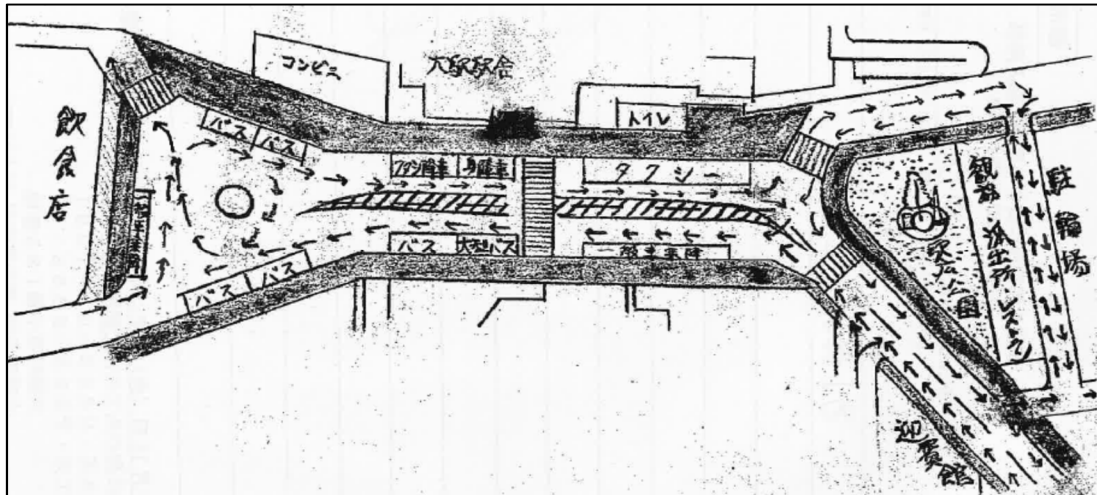
(2)の国道1号あたりから上がってくる児童生徒についても現況の通学路は狭く、危険であり、県道の拡幅により、広い歩道を設けることにより、スムーズで安全な通学ができるようになる。

いずれにしても、観光協会等の建物の移転、県道の拡幅、西ロータリーの縮小、自転車対策、通学路の確保が重要な課題だ。

改善案の図面は、別紙のとおり作成しました。

以上、提出します。よろしく申し上げます。

[別紙]



79 国府本郷

1. 現計画は、いろいろ制約のある中で良好。
2. 島ロータリーのデッドゾーン・ゼブラゾーンをライン処理して、車両駐車スペースを確保する。
3. コンビニエンスストアの西側の歩道スペースが広すぎて、車道の一般乗降場のR（カーブ）が少なく、スムーズな走行ができず、トラブルが発生しやすい。
4. 駅前東側の用地が計画区域になれば、再度、全体計画の見直しが必要となるが、用地面積に起因するので、必要ないかも。
5. 自転車は、車道走行or自転車歩行者道or歩道走行なのか、議論は？

80 国府新宿

駅前広場の整備は町並みの美観形勢だ（第二回検討会議より）という意識で、駅前全体のグランドデザイン、グランドヴィジョン（第一回検討会議より）を求めることから始めるべきだ。そのとき駅前駐輪場跡地の活用が重要なポイント（第一回検討会議より）であり、来客者も大切だが住民視点の安全安心、静けさを基本に（第一回検討会議より）と考えたとき、既存の「大磯らしさ」は駅周辺の緑陰、涼しさにあるだろう。オリンピックで証明されると思うが、街路樹の無い町は酷暑の危険が大きい。現在のロータリーの記念樹は残すべきで、自動車の速度を落とすシャアドスペース（第二回検討会議）やbumpの導入など、グランドヴィジョンの段階から町民の誇りとなる斬

新たな思想を育ててほしい。

81 西小磯

9年ほど前に大磯へ越してきてから、大磯駅前は私のお気に入りのスペースとなっています。主人や息子の駅の送り迎えを車で出来て、ほぼストレスが無いのは、近隣の駅からみて貴重です。またロータリーから電車へ、数分で移動できるのも、大磯駅の利点です。

一番利用が多いのは、自家用車の送り迎えです。

現在でも雨の日等は足りないのに、これ以上スペースを少なくされては大変困ります。バスは優先されるべき、タクシーは2〜3台駅前につけるくらいで良いのでは？ロータリー外に待機場所が欲しいところ。歩道拡張に4億円投じるべきではない。今のままで十分だ。待ち合わせの団体は歩道を拓けてもふくらむ時はふくらむだろう。現状で事足りている。貴重な税金を使うべきではないと考えます。

82 西小磯

絶対反対します。大磯駅前は、大磯の玄関であり、又大磯の顔です。

大磯に住むすべての人にしっかりと諮られるべきです。町長の独断で実行すべきでない。

現在のままでどうしてダメなのですか？

町長は町民では無く、大磯を訪れる観光客の事ばかり考えています。雨の朝、駅に車で家族を送ってきた時は、駅前で家族をおとせなくなるのですか？

駅前の横断歩道を短くして、駅から出た所及び南側を広くするのは、ますます駅前が渋滞すると思います。東側の駐輪場の前の広場の活用を考えるべきでは？

○お金がかかりすぎます。

次世代への負の遺産は少しでも少なくしてほしい。

83 東小磯

説明会に参加しました。

多くの反対意見に賛同しました。

大磯はこの昔ながらの雰囲気やたたずまいが好きで住んでいる人が多い。観光客の為に税金を使って箱物を作らないで欲しい。大磯は鎌倉の様にはなれないし望まない。

今の駅前を改造して使いやすく、かえって安全や利便性に問題が起こったらどう責任をとれますか？

50年前の駅前とほとんど変わらないのは貴重。風月がなくなって自転車置き場が丸見えになるのは残念。その前にビル等建てて、景観を益々壊すつもりでは。説明会で示された計画はあり得ない。（歩道を広げ車道を変型）

出生数は減り、団塊の世代が亡くなってくれば、当然、次世代には今のツケを負わせることにな

る。大磯町をどんな形にしようとしているのか。もっと町民の意見を聴いた方が良い。

この度重なる異常気象をどう対処していくか、中途半端な地域振興にお金を使わないで欲しい。

84 東小磯

住民を無視した計画には全く反対！

意見をよく聴き、お金をおとさない観光客やプリンス、JRのために税金を使うべきでない。

85 西小磯

変更点①は、人にやさしく、安全なので、とても良いと思う。

変更点③でも、一般車の停車場所は全く足りていないと思う。

変更点⑥は、大事故につながる危険性大です。今まで上下通行ができていたのに、駅に向かう車が全て左折して交通島のまわりを通るよう徹底するのは、かなり難しいと思う。これには反対です。

去年、一昨年と駅前的人身事故がゼロならば、巨額の費用を投じて駅前整備をする必要は無いと思う。今は不便ながらも譲り合いの精神で駅前を利用出来ているのだと思う。見栄えのする駅前整備より、高齢者や障がい者、生活に困難を感じている町民の声に寄り添った政策に予算を割いて欲しいです。例えば8050問題。町ではどのような対策を取っていますか？

86 大磯

大賛成です。明治時代から今日まで先覚者の定めた現駅周辺が、町民の為を考え、今日まで利用されてきたことに感謝の念しかありません。

しかし、時代が変わり、将来の子供達の事を思うと決してこのままで良いとは言えません。

今の子供たちが私達の年代になった時、大磯駅周辺が笑顔で歩けるような場所であってほしいです。出来れば、駐輪場跡をビルにして、風月、交番、観光協会等々、正面の商店等も一括したら、観光客の方々も安心して大磯の良さを増々感じてもらえるのではないのでしょうか？

代々が大磯に生まれ育っていますが、期待しています。参考まで、町長さん始め、職員の方々の活躍に期待しています。